

THE COLLECTED TANKA
OF OKAI TAKASHI

岡井隆 全歌集

Ⅲ

天洞庭園集「新編」

鶯卵亭

歳月の贈物

マエリスムの旅

人生の視える場所

禁忌と好色

岡井隆全歌集Ⅱ

一九八七年九月十五日発行

著者——岡井隆

発行人——小田久郎

発行所——株式会社 思潮社

東京都新宿区市谷砂土原町三―一五 電話東京二六七―八一四一（代）

印刷——エスニック・相良整版・福田印刷

製本——岩佐製本

定価——七八〇〇円

岡井隆全歌集

江苏工业学院图书馆
藏书章

目次

天河庭園集〔新編〕

—— 1967

〈時〉の峽間にて——亡き岸上大作の記念に ……18

歌かとも見ゆるメモランダムー ……27

歌かとも見ゆるメモランダムⅡ——初句重疊の詩法による ……30

絹の道 ……32

一週間 ……33

ノオトⅠ ……39

ノオトⅡ ……54

—— 1968

春潮夜々ニ深シ ……62

肖像のためのスケッチ ……63

炎語苦原にて ……69

市民と月光 ……71

飛ぶ雪の ……73
転形く ……75

1969

初冬日月 ……78
火の間で——病床メモ ……80

レイ・チャールズを聴きながら作った歌 ……81

昼の人 ……85

林檎樹と雪 ……90

天洞庭園集序歌 ……91

駅についての十五の断想 ……94

1970

世代差あはれ ……98

倫理的小品集 ……101

鷺卵亭

浪漫的断片 ……113

木の追憶から雨へ ……117

雨の記憶から木木のみどりへ ……118

鷺卵亭日乗 ……120

戯画流行のこと ……125

西行に寄せる断章・他 ……131

歲月の贈物

死者へ ……141

記憶への献辞 ……145

月光の中 ……148

視る人われは ……149

新樹の歌	154
幻の雪	157
母の話	159
歎声	162
歲月	164
性愛にかかわる素描集・他	174

マニエリスムの旅

鶯卵亭昨今	183
マニエリスムの旅	185
否定語的越年集	195
騒ぎ止まぬ定型格子	197
愛餐	200
海庭	208

『人生とはなにか』再読 ……224

吉本隆明詩への十数箇の註 ……226

わが戦後 ……229

中野町中原百 ……231

ユートピア景 ……233

岡山への試み ……238

ブルー・トレイン西へ ……241

ブルー・トレイン西へ Part II ……245

ユートピア景・補遺 ……250

伝言集 ……257

人生の視える場所

1 春の老人 ……263

2 趣る家族 ……269

3	信長が来た	277
4	口のゆがんだ肖像	284
5	青空	291
6	賛	298
7	噂の大魚	304
8	一月五日のためのコンホジション	308
9	如月に捧ぐ	314
10	古代遠望集	323
11	遊戯人の憂愁	330
12	荒野にありし頃	337
13	過ぎゆく島山	345
14	あじさいの夢に憑かれて	353
15	パウロ	361
16	私	368

禁忌と好色

女人に礼を	……378
時の徴	……379
花巻へ行く	……381
野の白鳥	……383
林檎園まで	……385
林檎園ふたたび	……387
九州反乱説その後	……390
夏の夜のため	……392
禁忌の音楽	……394
家族抄	……396
如月の花	……399
走り梅雨、走り書	……400
内と外	……406
天と地	……410

男と女	……415
嫌忌と好色	……420
地下鉄道讃歌	……424
仮面と様式	……426
雨と日本人	……435

各集序跋

『天河庭園集』あとがき——または謝辞	……445
『鶯卵亭』あとがき	……447
『歳月の贈物』あとがき	……449
『マニエリスムの旅』あとがき	……451
『人生の視える場所』自注	……459
『人生の視える場所』あとがき	494
『禁忌と好色』方法的自註	……495

あとがき

……505

装幀・芦澤泰偉

天河庭園集

新編